

第一工科大学 ビジネスアイデアコンテスト

空き家活用提案で受賞

若者と高齢者の交流の場に

第一工科大学(都築明寿香学長)はこのほど、石川県で行われた「Matching HUB 2022」内の学生ビジネスアイデアコンテストで、オーディエンス賞を受賞した。建築デザイン科の学生7人で構成するメンバーは、空き家の活用

による若者と高齢者の交流の場を提案し、聴衆の心をつかんだ。4年生の

聴衆の支持を集めた林拓海さん(左から2番目)ら=石川県の現地

林拓海さんや田之上葵さんを中心としたメンバーは、空き家活用に着目。高齢者と若者が共に暮らす住宅や、自宅にしながらインターネットでの医療相談を可能とする住居など建物に個性を与え、付加価値を加えるというアイデアをまとめた。1次選考を通過後、現地での公開プレゼンに臨んだ林さんらは、地域貢献の側面や期待される入居者の交流について説明。空き家活用が地域の活性化にもたらす可能性を訴えた。

観覧者から多くの支持を集めた提案は「オーディエンス賞」の名誉に輝いた。林さんは「参加

を通じて多くの企業や他校の学生と交流できて勉強になった。発想を具現化するには、たくさん課題があると学べた」と笑顔で語った。